

第26回全国少年フェンシング大会

(フルレー団体戦)

要 項

- 主 催 (社)日本フェンシング協会
全国少年フェンシング大会大山崎町実行委員会
- 後 援 総 務 省・文部科学省
(財)地域活性化センター
京都府・京都府教育委員会
大山崎町・大山崎町教育委員会
(財)京都府体育協会・大山崎町体育協会
- 主 管 京都フェンシング協会

1. 期 日 平成25年10月26日(土)・27日(日)

| | | |
|-------|-----------|-------------|
| 技術委員会 | 10月25日(金) | 16:00~18:00 |
| 審判会議 | 10月26日(土) | 9:00~9:30 |
| 監督会議 | 10月26日(土) | 9:00~9:30 |
| 開会式 | 10月26日(土) | 9:45~10:20 |
| 競 技 | 10月26日(土) | 10:30~17:00 |
| 競 技 | 10月27日(日) | 9:00~14:00 |
| 閉会式 | 10月27日(日) | 14:00~ |

2. 会 場 大山崎町体育館

京都府乙訓郡大山崎町円明寺一丁目50

TEL 075(956)0567 FAX 075-956-0566

3. 競技種目 フルーツ団体戦

小学1・2・3年男子、小学1・2・3年女子

小学4・5・6年男子、小学4・5・6年女子

中学男子、中学女子

4. 参加チーム

- ・チームは監督1名、選手3~4名で編成する。
- ・日本協会登録の団体・学校にて複数チームの参加を認める。
- ・日本協会登録の団体名・学校名以外の名称での参加は認めない。
- ・団体、学校において人数の不足によりチームが編成できない場合に混成チームによる参加を次の条件を満たしたとき認める。

1)あくまで各団体学校において当該種目の選手が3名に満たない時。

2)混成チームは同一都道府県内で編成し、名称は「都道府県混成」とする。

3)申込みのあった時点で条件を満たしているかの審査を行う。

(例えばA県において中学男子チームを編成したいがB中学には2名の選手しか在籍していないのでA県内のC中学の選手1名を加えてA県混成チームとする。A県内で優秀選手を各学校から選んでチームを編成することを防ぐことを目的としている。)

4)混成チームは海外派遣の選考対象とはしない。

5. 参加資格

選手・監督は平成25年度(社)日本フェンシング協会登録済みの者。

6. 参加費 団体戦 一チーム 8,000円

参加申込と同時に下記に振込みをすること。

京都銀行 長岡支店 (店番 312) 普通預金

口座番号 3983435

口座名義 全国少年フェンシング大会大山崎町実行委員会

会長 江下 傳明

7. 参加申込

9月13日(金)までに、所定の様式にてメールで下記あて先に申し込むこと。

申し込メールが有り次第、確認のメールを返送します。

送信先 全国少年フェンシング大会大山崎町実行委員会

e-mail sports@town.oyamazaki.lg.jp

期日後、参加費が振りこまれていないもの及びFAX、電話等での受付はしない。

8. 表彰

優勝チームには持ち回り優勝杯・メダル・賞状を、2・3位にはメダル・賞状、4位には賞状を贈る。

本大会の結果は、国際大会等へ派遣する日本代表チームの選考資料となる。ただし混成チームはこの対象とはしない。

9. 競技方法

(1)試合規則

F・I・E (国際フェンシング連盟) および (社) 日本フェンシング協会試合規則の最新版を準用する。

(2)試合方法 (下記の項目については本大会のルールを適用する。)

全種目シード順位を決めるためのプール戦とトーナメント方式でおこなう。

1)小学生1・2・3年生

- ・プール戦は3~4チームでの9本(2分・3本・3試合)のリレー方式とする。
- ・トーナメント戦は9本(2分・3本・3試合)のリレー方式とする。
- ・ピストの全長は10mとする。

2)小学生4・5・6年生

- ・プール戦は3~4チームでの9本(2分・3本・3試合)のリレー方式とする。
- ・トーナメント戦は27本(2分・3本・9試合)のリレー方式とする。
- ・ピストの全長は14mとする。

3)中学生

- ・プール戦は3~4チームでの15本(3分・5本・3試合)のリレー方式とする。
- ・トーナメント戦は45本(3分・5本・9試合)のリレー方式とする。
- ・ピストの全長は14mとする。

4)組み合わせ抽選は主催者において実施する。

(3)武器用具装備

F・I・E 試合規則第1編第4章 選手の装備：選手は、自分の全責任において剣を持ち、用具、服装を付けて競技を行う。「自分の全責任の元に危険・災害に対して、武器・装具・服を着けて戦う。選手は、自分が加害者または被害者となるあらゆる事故に対して、責任を持たなければならない。」ことを理解して試合に臨むこと。

1) 中学生・小学生の選手については以下の装具の着用を義務づける。

中学生

- ① ユニフォーム上下 350N
- ② F I E 公認マーク付き半袖プロテクター800N
- ③ F I E 公認マーク付きマスク 1600N（電導ビブ付きを使用すること）

小学生

- ① F I E 公認マーク付き半袖プロテクター800N
- ② ユニフォーム・マスクについては中学生の基準に準ずることが望ましい。

2) 小学生1・2・3年の選手は、3号剣以下を使用することが望ましい。

3) ストッキングは、白色の膝の出ない長めのものを使用すること。

4) ゼッケンは、縦15cm、横20cmの白布に、上段に姓、下段に所属（男子は黒字、女子は赤字）を明瞭に見える大ききで書き、後ろ足大腿部に付けること。

5) 女子選手は、金属または固い材料で出来ている胸当てを両胸に着用すること。

10. 用具検査 事前の用具検査は行わない。

試合開始時に審判員はピスト上で選手のユニフォーム・プロテクター・マスク・グローブ等が安全基準に適合しているかを確認する。その際劣化やほころび等があると認められた場合、選手はイエローカードの警告を受け、適正なものに交換しなければならない。

11. 宿泊 別紙宿泊要項による。

12. 安全管理 参加者は安全管理については特に留意して臨むこと。

- (1) 各選手・監督には主催者が旅行保険をかける。
- (2) 各選手は事前にスポーツ傷害保険等他の保険に加入することが望ましい。

13. 計画輸送

J R 山崎駅・阪急大山崎駅と会場間の計画輸送を行う。

26日（土） 7：30～19：00

27日（日） 7：30～17：00

[参考]

長さ10m (小学生1・2・3年生用) のピスト図

